

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日以上)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分 類	発生日	性別	年齢	被災程度	内 容
1	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R4.5.19	男	36	負傷	海上ボーリングの仮設作業中のウインチ作業にて、ウインチとワイヤーの間にワイヤーをつかんでいた右手の中指・薬指・小指の3本が巻き込まれ、内出血及び少量の出血などの負傷をした。
2	鹿角	切れ・こすれ	R4.5.24	男	39	負傷	コンクリートカッターでの作業中、カッター刃の破片が本人の頸部を傷つけ、負傷した。
3	仙北	飛来・落下	R4.6.17	男	74	負傷	ダム公園内にて、桂の木を伐倒しての枝刈り払い処分後、玉切り作業により切り出そうとした丸太が左大腿部に落下し、左大腿骨骨幹部を骨折した。
4	雄勝	飛来・落下	R4.7.25	男	40	負傷	測量業務における横断測量の目印棒設置中に既設擁壁から落下し、背骨を骨折した。(ヘルメット着用、命綱無し)
5	雄勝	墜落・転落	R4.8.2	男	46	負傷	キャリアダンプにて現場発生土の運搬作業中、10m程の斜面を転落し、肺挫傷、肋骨骨折等の負傷をした。(防災ヘリ→ドクターヘリ→救急車で病院へ搬送)
6	鹿角	交通事故(道路)	R4.8.26	男	74	死亡	夜間工事(舗装切削作業)において、現場代理人を含む作業員5名が片付け作業、作業員5名(誘導員3名)が計測及び仮ラインを施工中、歩道内で片付け作業をしていたはずの被災者が1人で車道内へ戻り、走行してきた一般車両(大型10tトラック)と衝突し、死亡した。
7	雄勝	はさまれ・巻き込まれ	R4.9.5	男	45	負傷	仮設道路の施工にあたり、敷鉄板をユニック車両にて輸送し、現場到着後、バックホウによる荷下ろし作業を行っていたところ、敷鉄板が車両前側に振られ、右足すね部をプロテクターに挟まれ、骨折した。
8	北秋田	動作の反動・無理な動作	R4.9.9	男	62	負傷	現況排水路(二次製品)の一部を撤去し、田面排水のための開口部設置のために水路側壁を切り欠こうとし、排水路をテコ棒で傾けた際、手からテコ棒が滑って足を直撃し骨折した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日以上)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分 類	発生月日	性別	年齢	被災程度	内 容
9	雄勝	墜落・転落	R4.9.10	男	28	負傷	法面工事の荷揚げ作業のためモノレールを渡ろうとし、モノレールのレール上で足を滑らせて落下し、レールに左足を強打し左大腿部を骨折等をした。
10	平鹿	崩壊・倒壊	R4.10.13	男	70	負傷	路面からアスファルト舗装の切断済み舗装板の塊が、道路側溝の基礎砕石敷均し作業中の作業員の足に落下し、左足脛骨を骨折した。
11	秋田	墜落・転落	R4.10.14	男	45	負傷	午前中に取り付けたあと施工足掛金物を伝って、午後に反応タンク内に下りようとしたところ、あと施工足掛金物のハシゴが抜け、3.7mの高さから落下し、右足から着地した衝撃により膝から下骨が飛び出す、解放骨折をした。
12	雄勝	激突	R4.10.17	男	61	負傷	埋設されていた水道管の撤去作業時、引き上げた水道管が作業員に当たり、右足くるぶしを骨折した。
13	平鹿	激突	R4.12.24	男	45、 39	負傷	除雪ドーザーでの除雪中、マンホールの段差に引っかかり、同乗者がその衝撃でフロントドアに衝突し、額を裂傷した。運転手は首を痛めた。
14	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R5.1.5	男	38	負傷	資機材の運搬及び配置の作業中、バックホウと水槽の間に挟まれ鎖骨、肋骨の骨折等をした。
15	秋田	墜落・転落	R5.1.23	男	55	負傷	内装解体(天井内配管撤去)作業中に脚立から転落(足から着地)し、かかとを骨折した。
16	秋田	飛来・落下	R5.2.14	男	67	負傷	ベンチフリューム700型の布設替えにて、吊り上げたベンチフリュームが破損・落下し、左足の膝下を骨折した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日以上)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分 類	発生日	性別	年齢	被災程度	内 容
17	鹿角	はさまれ・巻き込まれ	R5.2.21	男	25	負傷	護床ブロックを二次運搬するため、0.4・級バックホウ(クレーン仕様)で吊り上げ中、補助作業していた受傷者がブロックに近づき過ぎたため、地切りした際にフックとフックの間に左膝下を挟まれ負傷した。
18	雄勝	飛来・落下	R5.3.7	男	65	死亡	仮設道路の鉄板撤去のため、一時集積場所に集積していた鉄板を荷下ろしした際、鉄板の吊り金具のロックが外れ、作業員が鉄板の下敷きとなり死亡した。
19	雄勝	はさまれ・巻き込まれ	R5.3.31	男	49	負傷	詰所のドアが風にあおられ、閉まったドアに左親指を挟み、負傷した。(切断寸前の状態)

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日未満)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分 類	発生日月	性別	年齢	被災程度	内 容
1	仙北	はさまれ・巻き込まれ	R4.4.9	男	35	負傷	作業員が簡易土留めを解体するため梯子で降りようとした際、バックホウの方向転換に伴い滑った敷鉄板との間に作業員の右足指の付け根が挟まれ、打撲した。
2	平鹿	その他	R4.5.30	女	21	熱中症	舗装作業中、ふらふらした状態となり頭痛の症状があったため、作業をやめさせ車内でエアコンをかけ首まわりを保冷剤で冷やし安静にした後、病院で点滴をした。
3	秋田	切れ・こすれ	R4.6.20	男	56	負傷	チェーンソーで雑木を伐採中にチェーンソーが左足大腿部に接触し裂傷した。
4	雄勝	転倒	R4.6.21	男	20	負傷	丁張り作業で使用する杭と板を担いで、地山を利用し作った昇降階段を下りる際、柔らかい土の部分で足を滑らせ転倒し、右足首をひねり捻挫した。
5	秋田	その他	R4.6.24	男	57	負傷	リースの仮設資材を運搬してきた個人事業主の運転手が、荷下ろし作業中に荷台から飛び降り右足膝を地面に打ちつけ、右膝脛骨外顆を骨折した。
6	雄勝	切れ・こすれ	R4.7.4	男	62	負傷	作業中の現場点検を行っていた際、鉄筋(基礎立ち上がり)の切断面に左肘がふれ、裂傷した。
7	由利	切れ・こすれ	R4.7.6	男	66	負傷	休憩後、作業を再開するため休憩場所で草刈り機を作動させようとしたが、燃料が入っていないことに気づき燃料を取りに移動する際、隣の人が作動させた草刈り機に気づかず、刃が当たり裂傷した。
8	雄勝	高温・低温物との接触	R4.7.11	男	52	負傷	新設の発電所建屋工事でセパレーターの溶接中、溶接着材が自分の足元にしたり落ち、火傷した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日未満)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	被災程度	内 容
9	鹿角	その他	R4.7.27	男	31	熱中症	足場組み立て作業中に体調不良を訴えたため、熱中症を疑い、服を緩める、水分を補給する等の処置を行いながら、かつの厚生病院へ他作業員が搬送し、処置を受けた。
10	秋田	その他	R4.7.29	男	60	熱中症	海上(船上)での作業中気分が悪くなり休憩したが、回復が見られないことから社員が病院へ搬送し軽度の熱中症と診断され、点滴を受けた。
11	平鹿	その他	R4.8.8	男	45	熱中症	日なたの切土法面にてワラ芝設置中に具合が悪くなり、熱中症が疑われたため、救急車で病院へ搬送された。
12	雄勝	墜落・転落	R4.8.17	男	23	負傷	法面でパワーネットの位置出し作業で擁壁天端を歩行中、足を滑らせ約2.5m下の道路に滑り落ち足から着地したため、かかとを打撲した。
13	北秋田	墜落・転落	R4.8.26	男	39	負傷	ボーリング資材撤去作業中において、設置した足場を移動し安全帯をかけようとしたところ、濡れた足場板により滑って転倒し、約3m下へ足から転落し打撲した。
14	北秋田	その他	R4.8.31	男	63	負傷	草刈り作業中、スズメバチに1箇所刺され、意識が朦朧としてきたため救急車で病院へ搬送された。
15	由利	その他	R4.9.2	男	54	負傷	現場付近の側溝内に蜂の巣があり、それに気づかずに確認作業をしていたところ、現場代理人(右眉部分1箇所)と監督員(右足2箇所)が蜂に刺された。
16	仙北	はさまれ・巻き込まれ	R4.10.3	男	51	負傷	モルタルミキサーのエンジン始動の際、駆動ベルト部に左手の指を挟み、人差し指と中指を骨折した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日未満)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分 類	発生日	性別	年齢	被災程度	内 容
17	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R4.10.12	男	46	負傷	ホーリング調査完了後の機械分解時に、駆動ベルトとプーリー（滑車部）の間に左手の指を挟み、打撲した。
18	山本	はさまれ・巻き込まれ	R4.10.21	男	39	負傷	基礎捨て石均し作業中の捨て石設置時、石と石の間に右手薬指を挟み、指先内出血をした。
19	仙北	転倒	R4.11.1	女	63	負傷	敷鉄板で滑り転倒し、右手首を骨折した。
20	仙北	墜落・転落	R4.11.3	男	21	負傷	モルタル1 袋を肩に担いで脚立を使用し上部へ運搬しようとした際に体勢を崩し脚立から墜落し、左目上部2箇所を裂傷した。
21	雄勝	はさまれ・巻き込まれ	R4.12.14	男	71	負傷	土留支保工内での水替作業において、切梁材に左手をかけ作業をしていたところ、バックホウのバケットと切梁材に左手薬指を挟まれ、負傷した。
22	北秋田	激突	R4.12.17	男	47	負傷	除雪作業中、道路上のマンホールとグレーダーエッジが接触し、その衝撃により、助手（被災者）が前方へ倒れ、ドアノブに鼻の横付近を激突し、裂傷した。
23	由利	崩壊・倒壊	R4.12.27	男	59、63	負傷	作業現場内で雪崩が発生し、作業員5名が巻き込まれ、内2名が負傷した。（1名：肋骨骨折等、1名：首のムチ打ち）
24	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R5.1.16	男	71	負傷	撤去した仮設道路用敷鉄板の車両への積込み作業中、敷鉄板吊り上げ用フックと鉄板の間に指を挟んだ状態で吊り上げられ、右手人差し指の指先を負傷した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	被災程度	内 容
1	仙北	公衆災害	R4.4.11	—	—	—	バックホウの荷下ろし中、個人宅への引き込み電話線と接触し、切断した。
2	由利	公衆災害	R4.4.18	—	—	—	砕石運搬車両(大型ダンプ)が、砕石荷下ろし後荷台を下ろし忘れて走行し、NTT光ケーブルに接触したるんだ(通信は可能)。
3	由利	公衆災害	R4.5.23	—	—	—	砕石を搬入したダンプ車が、荷台を下げながら走行したため、象潟IC を案内する大型標識に衝突し、標識版の一部を破損した。
4	秋田	公衆災害	R4.6.3	—	—	—	道路築造のための伐木作業中、地下埋設の電線を切断し、送電停止となった。
5	仙北	公衆災害	R4.6.10	—	—	—	バックホウによる旧堰の撤去中、電話線とバケットが接触し電話線を切断した。
6	仙北	公衆災害	R4.6.20	—	—	—	バックホウでの作業中、電線とバケットが接触し、電力線は断線しなかったが、電話線が断線した。
7	由利	公衆災害	R4.6.21	—	—	—	道路維持業務の道路除草作業による道路路肩の草刈り作業中、シールド作業員を配置しておらず、刈払機により飛び石が発生し通行車両の窓ガラスを破損した。
8	北秋田	公衆災害	R4.6.28	—	—	—	屋外排水配管掘削時に、既設寄宿舍棟消火設備の埋設配管を破損した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	被災程度	内 容
9	北秋田	公衆災害	R4.7.7	—	—	—	草刈り剪定車からの飛び石により、通行車両の助手席側ガラスが破損した。ガラス片が座席等に飛散し、ガラス飛散時に顔にかすり傷あり。
10	仙北	公衆災害	R4.7.13	—	—	—	ほ場内で不整地運搬車を移動した際、車両後方の電柱に衝突し、電柱を破損した。
11	秋田	公衆災害	R4.7.28	—	—	—	道路築造のため、起点側から掘削土運搬してダンプトラックが、荷下ろし後に荷台を下げないまま走行し、市道の大型標識にぶつかり破損し、ダンプトラックが横転し市道にはみ出し、片側1車線を塞いだ。
12	山本	公衆災害	R4.8.18	—	—	—	旧校舎(教室棟)の耐震補強箇所(ピタコラム)の補強鋼板を撤去中、鋼板を留めていた、あと施工アンカーが抜けて飛び、対面の教室・特別・管理棟2階の職員室窓に衝突し、窓ガラスを破損した。
13	山本	公衆災害	R4.8.19	—	—	—	旧校舎(教室棟)屋上の塔屋外壁を重機でつかみ倒そうとしたところ、落下を抑止する役割を担う鉄筋がほとんど入っていなかったため、ひと固まりとなって落下し、新校舎側保健室の窓等に衝突し、窓ガラスを破損等した。
14	仙北	公衆災害	R4.9.5	—	—	—	バックホウ作業中に通信線(ドコモケーブル)にアームが接触し、損傷を与えた。(断線はしていない)
15	北秋田	公衆災害	R4.11.28	—	—	—	凍結抑制剤散布装置設置後の稼働前点検中、一般車両に気づかず誤って塩を撒いてしまい、車両を損傷した。(助手席側ドアの塗装剥がれ)
16	仙北	公衆災害	R4.12.7	—	—	—	交差点部で車道除雪の整正作業中、除雪ドーザ(16t級)が後退した際、NTT柱に車体後部が接触し、折損(上部1/3付近)した。

令和4年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害)

R4.4.1～R5.3.31

番号	管内	分 類	発生日月	性別	年齢	被災程度	内 容
17	秋田	公衆災害	R4.12.22	—	—	—	庇上で足場資材を下から上へ手渡ししていたところ、受け取り側の作業員が手を滑らせ足場資材が落下し、駐車場に駐車していた第三者の車に足場資材がぶつかり、破損した。
18	仙北	公衆災害	R5.2.15	—	—	—	重機(バックホウ)の作業中、電話線2本とアームが接触し、1本を切断した。
19	平鹿	公衆災害	R5.2.27	—	—	—	水路清掃作業時のバックホウ旋回にて、電話線と接触し切断・不通(3軒)となった。